

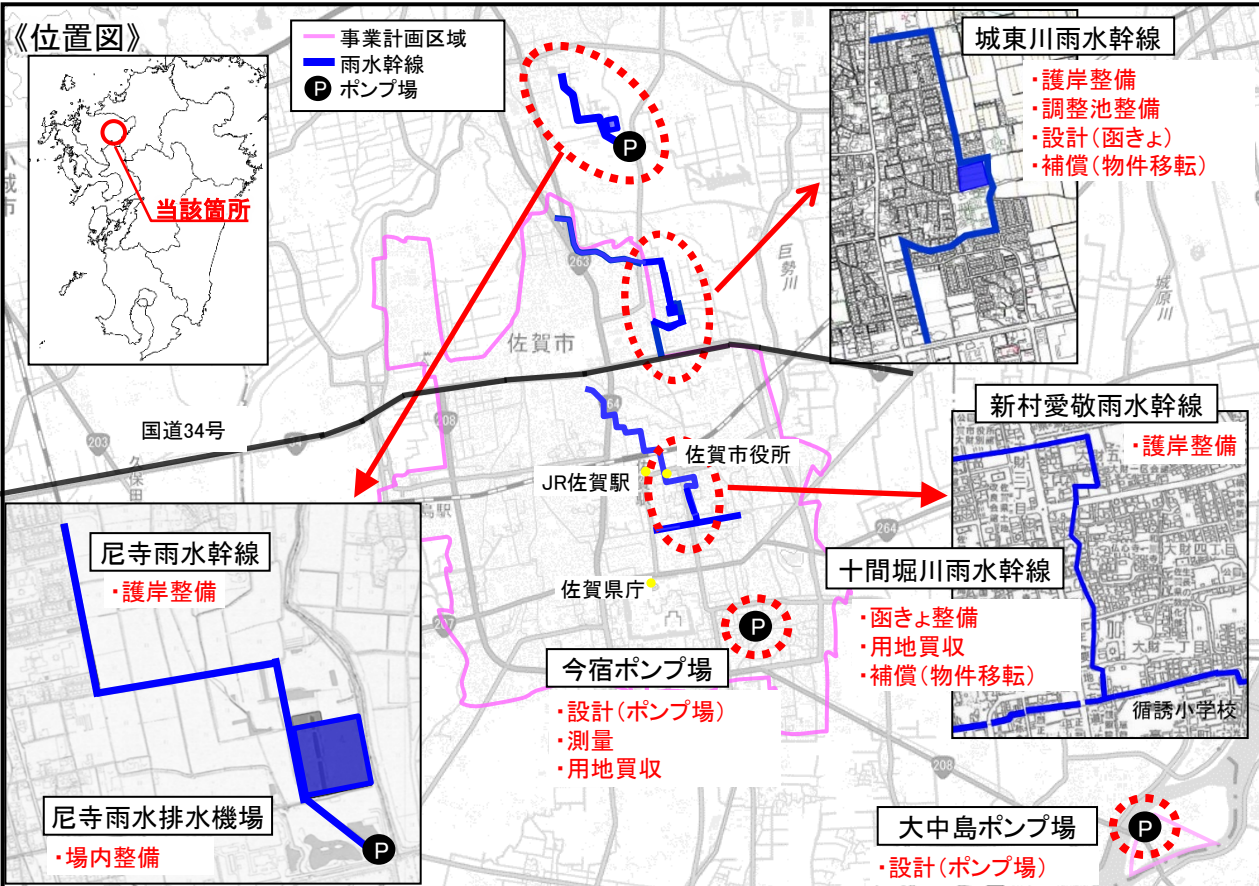
佐賀市佐賀地区大規模雨水処理施設整備事業【補助】(佐賀県佐賀市)

事業費:974百万円

■概要

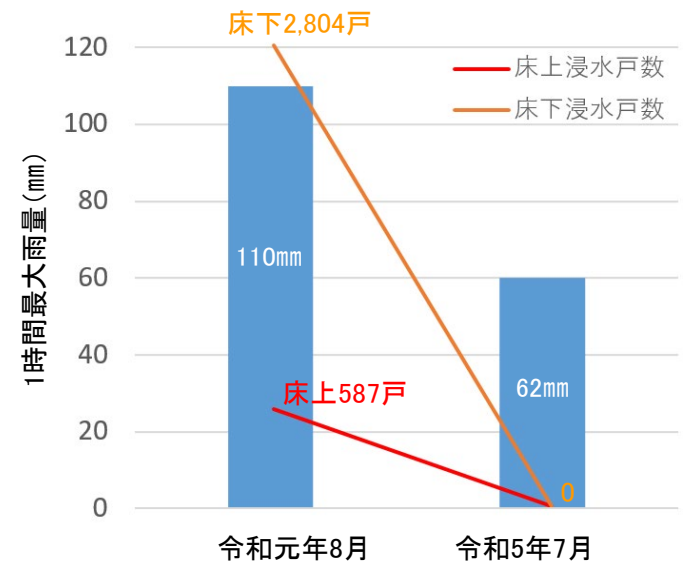
佐賀市では、令和元年8月の前線に伴う大雨で市街地を中心に大きな浸水被害が発生した。「佐賀市排水対策基本計画」に基づき、貯留機能を有する雨水幹線、調整池及び雨水ポンプ場を整備し、大雨による浸水被害の軽減を図ることで、流域治水に関する取組を推進する。

- 事業内容: 雨水幹線、雨水調整池及び雨水ポンプ場の整備
- 事業期間: 令和2年度～令和10年度
- 事業主体: 佐賀市
- 整備内容(令和6年度): 護岸整備、函きよ整備、ポンプ場内整備、調整池整備



《事業効果》

下水道の計画降雨(10年確率)に対して、市街地部の浸水深を20cm程度にとどめ、床上浸水の解消など浸水被害を軽減。



■概要

熊本県下においては、世界的半導体企業であるTSMCの進出を契機とした半導体関連産業の集積の動きが活発化しており、国内における半導体関連産業基盤の強化に加え、雇用拡大や定住人口の増加など地方創生の効果も大きく期待されている。今後更なる半導体関連産業の集積に伴い増加する工場等からの排水を適正かつ確実に処理するため、熊本北部浄化センターの水処理施設を増設する。

社会資本整備総合交付金の内数

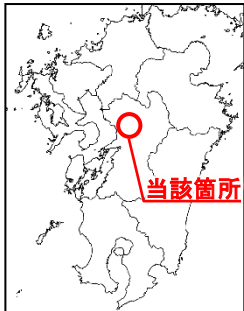
■事業内容: 水処理施設を増設整備

■事業期間: 令和5年度～令和7年度

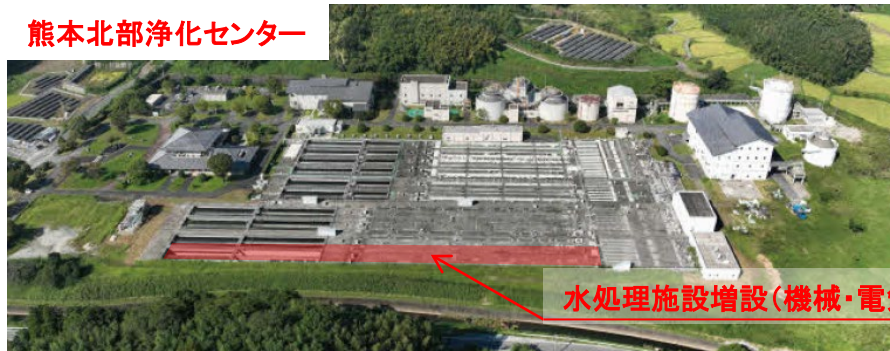
■事業主体: 熊本県

■整備内容(令和6年度): 水処理施設(機械・電気)の整備

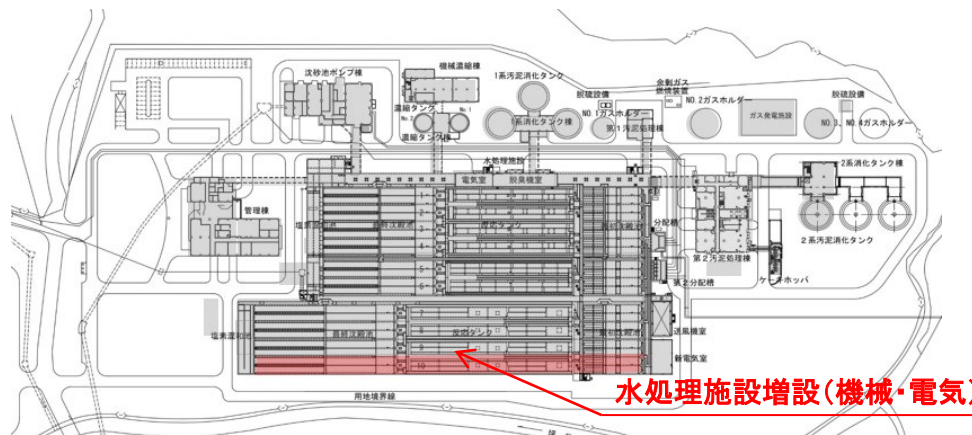
《位置図》



熊本北部浄化センター



水処理施設増設箇所



事業費:444百万円

■概要

本地区では、下水道の未普及解消に向け、土地区画整理事業にあわせて、効率的に管きよ整備を進めている。実施にあたっては、民間事業者の持つ独自の技術やノウハウの活用を期待したDB(設計・施工一括発注)方式を採用し、事業期間の短縮やコスト削減による公共下水道整備の加速化、職員負担の軽減などを図る。

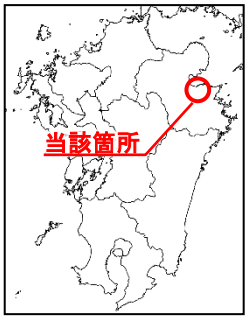
■事業内容:下水道管きよの整備

■事業期間:令和3年度~令和7年度

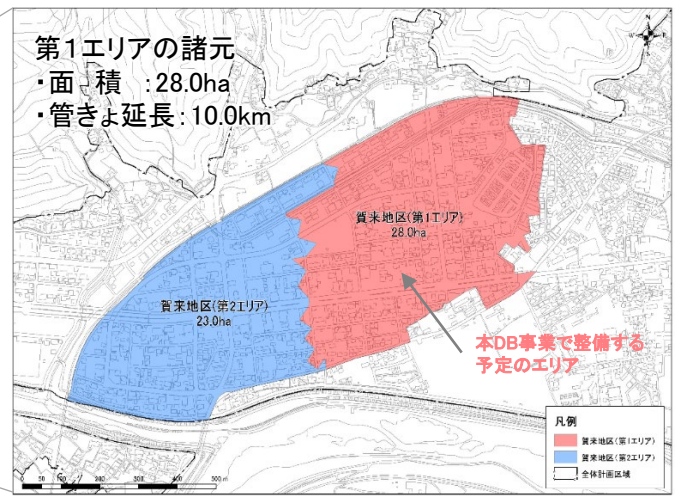
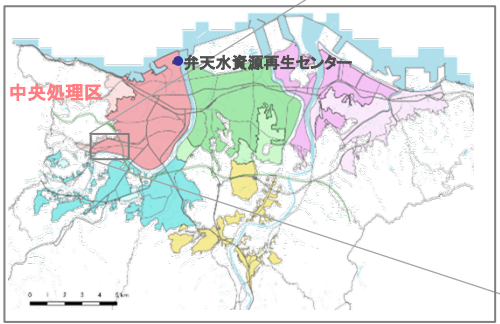
■事業主体:大分市

■整備内容(令和6年度):延長L=900m(推進工φ250 L=600m、開削工φ200 L=300m)

《位置図》

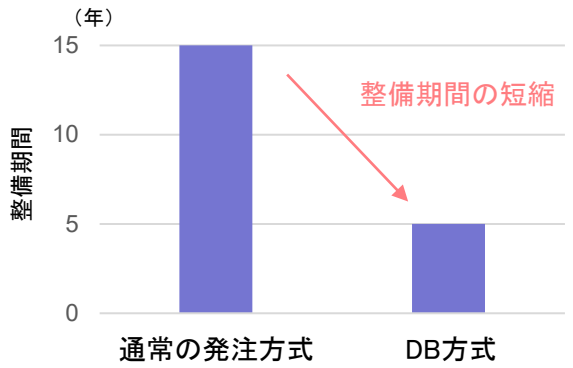


大分市の賀来地区は中央処理区の西に位置しており、土地区画整理事業にあわせ、幹線整備を進めている。引き続き、DB方式による整備を採用し、第1エリアの管きよ整備を行う。



《事業効果》

DB事業による効果は、大規模に発注することによるコストの低下や、契約本数削減による発注職員の負担軽減などが挙げられるが、特に整備期間の短縮が大きな事業効果として挙げられる。



賀来地区第1エリアにおける整備期間の短縮効果